



令和 6 年 2 月 14 日

備前長船刀剣博物館	
担 当 者	主査（学芸員） 杉原賢治
電 話 番 号	0869-66-7767（直通）

## テーマ展「鐔の世界」を開催します

平素は、備前長船刀剣博物館に格別のご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、備前長船刀剣博物館では、令和 6 年 2 月 10 日からテーマ展「鐔の世界」を下記のとおり開催します。

開催情報については、当館ホームページ（<https://www.city.setouchi.lg.jp/site/token>）にて随時発信してまいりますのでご確認ください。

### 記

- 1 展示会名      テーマ展「鐔の世界」
- 2 開催期間      令和 6 年 2 月 10 日（土）～令和 6 年 4 月 21 日（日）
- 3 開催場所      備前長船刀剣博物館（瀬戸内市長船町長船 966）
- 4 展示内容      現代では、鐔は鐔工と呼ばれる金工師が主に製作しますが、過去には刀鍛冶や甲冑師・鏡師などが独自の技術で様々な鐔を製作してきました。  
本展では、100 枚を超える鐔を展示し、鐔の材質や形状が職人ごとにこだわって製作していることを、実際に目にすることで感じてもらいます。  
また、併せて、鐔に描かれた画題から当時の習俗や諺なども紹介します。
- 5 そ の 他      取材の際は、事前に連絡願います。

## テーマ展「鐔の世界」開催要項

- |   |       |  |  |  |
|---|-------|--|--|--|
| 1 | 展覧会名  | テーマ展「鐔の世界」   |  |  |
| 2 | 主 催   | 瀬戸内市、備前長船刀剣博物館、  |  |  |
| 3 | 共 催   | 日本美術刀剣保存協会岡山県支部  |  |  |
| 4 | 開催場所  | 備前長船刀剣博物館（岡山県瀬戸内市長船町長船 966） 2 階展示室   |  |  |
| 5 | 開催期間  | 令和 6 年 2 月 10 日（土）～令和 6 年 4 月 21 日（日）<br>※休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日が休館日）、祝日の翌日  |  |  |
| 6 | 入 館 料 | 一般 500（400）円、高大生 300（250）円、中学生以下無料<br>※（ ）は 20 名以上の団体料金<br>※障がい者手帳等の持参者及び付き添い 1 名まで無料  |  |  |
| 7 | 趣 旨   | <p>刀剣を収納する拵を構成するパーツの鐔は、手滑りを防ぎ、刀身と柄の重心のバランスをとるなど実用性を中心に作られています。刀身の姿の主流が、太刀から打刀に代わるように、鐔も革を漆で固めた薄く軽い鐔から鉄製の厚く重い鐔へと戦闘様式に合わせ実用的なものへと変化をしていきます。また、現代では、鐔は鐔工と呼ばれる金工師が主に製作しますが、過去には刀鍛冶や甲冑師・鏡師などが独自の技術で様々な鐔が登場してきました。さらに、江戸時代になると、戦が無くなったためか町人文化が花開き、実用重視ではなく刀装具にも町人好みの意匠やデザイン性が重視したものが登場してきます。</p> <p>鐔には、緻密で様々な画が描かれています。例えば、トンボや百足などの虫が描かれたものも見られます。虫は、後には進めないことから戦いにおいても後退せず戦い抜く覚悟を持つなど、注文主の祈願や信念などが込められているため、鐔をただ単に刀剣を構成するだけの意匠的なパーツとしてはとらえていません。</p> <p>本展では、鐔を作られた時代や画題ごとに鐔造りにたずさわった職人や背景を紹介するとともに、当時の世相や風俗などの時代背景などに迫ります。</p> |  |  |
| 8 | 展示内容  | 本館蔵及び個人所蔵の鐔を中心に刀身等合わせて約 110 点展示。<br>【展示作品（予定）】<br>・虫尽くし図 大・小鐔 無銘 備前長船刀剣博物館蔵<br>・富士山図鐔 銘 正阿弥勝義（花押） 備前長船刀剣博物館蔵<br>他  |  |  |
| 9 | 問合せ先  | 備前長船刀剣博物館（担当：主査（学芸員） 杉原賢治）<br>電 話：0869-66-7767 FAX：0869-66-7971  |  |  |